

4月 安全指導

安全指導ガイダンス

2011年3月11日午後2時46分に起きた東日本大震災。あれから14年が経ちました。みなさんもテレビなどで見たことあるかもしれませんが、当時日本は大きな恐怖と不安に包まれました。近年では2016年の熊本地震や2018年の西日本豪雨、2024年には能登半島沖地震、そして驚異的な台風による被害など、災害はいつどこで発生するかわかりません。今一度この機会に身の安全を守ることにについて考えていきましょう。

これから1年間、みなさんの安全を守るために安全指導と避難訓練を行っていきます。

その中で、「危険を予測し回避する能力」と「周りの人や社会の安全に貢献できる資質や能力」

を身に付けてほしいと思っています。

【災害が起きた時には】

どのような場合でも災害が発生した際にまず考えなければならないのは、「身の安全の確保」です。学校内での避難の場合、状況に応じて階段が使えない場合も考えられます。二年生や三年生も学年が変わり、避難経路が変わっています。各教室に掲示してある避難経路を必ず確認するようにしてください。また、避難する際には700人が一斉に動くことになります。周りの人の安全のためにも、「おかしも」つまり、おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、の原則を守って行動してください。また、放送や先生の指示をよく聞いて落ち着いて行動するように心がけましょう。校庭に出てからも慌てず慎重に行動してください。

【火災発生時には】

- ・目の前に炎がなくても自分の身に危険が迫ることがあります。必ず口元をハンカチやない場合は袖口などでふさぎ、煙を吸い込まないようにしましょう。
- ・火災が発生した時には、消火器などで火を消すことができます。地域の防災訓練等に積極的に参加して、正しい初期消火の方法を確認するようにしましょう。

【地震発生時には】

- ・緊急地震速報受信時は、周囲の状況に応じて、あわてずに、身の安全を確保しましょう。
- ・物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に移動して身を守りましょう。
- ・家庭で地震が起きた時には、電気やガスの元栓を確認してから避難するようにしましょう。
- ・地震で扉や窓が歪んで、開かなくなることがあります。窓や戸は開けて出口を確保しましょう。
- ・外での避難の場合は塀や門の倒壊に気を付けて、なるべく近寄らないようにしましょう。